



厚生労働省福島労働局発表
平成30年8月27日
※交付式終了後解禁

担当

福島労働局雇用環境・均等室
室長 佐藤 央子
指導係主任 大槻 有紀
TEL：024-536-4609

「くるみん認定」取得 ～認定通知書交付式を開催します～

ダイハツ福島株式会社

(郡山市・自動車販売業) (代表取締役 佐藤 修朗)

自動車販売業
県内初!!

初認定



一般財団法人脳神経疾患研究所

(郡山市・医療業) (理事長 渡邊 一夫)

初認定



- 1 福島労働局(局長 森戸 和美)は、このたび、**従業員の子育て支援に積極的に取り組んでいる企業(子育てサポート企業)**として次世代育成支援対策推進法に基づき、ダイハツ福島株式会社(代表取締役 佐藤 修朗)、一般財団法人脳神経疾患研究所(理事長 渡邊 一夫)を**新たにくるみん認定**しました。
- 2 認定企業に対する通知書交付式は、下記により行います。
- 3 今回の認定により、当局管内のくるみん認定企業数は、プラチナくるみん認定2社、くるみん認定35社(延べ42社)となりました。

○日 時：平成30年8月29日(水)11:00～

○場 所：福島合同庁舎3階会議室(福島市霞町1-46)

※交付式の写真撮影、認定企業への事前取材・交付式後の取材は可能です。(会場に直接お越し下さい。)

くるみん認定とは

行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たして申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。

(添付資料)

- 資料1 認定企業の取組
- 資料2 認定基準一覧
- 資料3 福島県内の認定取得企業(子育てサポート企業)一覧
- 資料4 福島県内の認定企業分布図

育児休業取得促進のため制度周知を行い、女性の取得率100%を達成。



ダイハツ福島 株式会社 (郡山市)

- 代表者：代表取締役 佐藤 修郎 ■事業内容：自動車販売業
 ■労働者数：132人（男性106人、女性26人）

●計画期間

平成27年4月1日～平成30年3月31日

●計画期間において育児休業をした労働者数

男性看護休暇者 1名
 女性育児休業者 4名

●行動計画の目標達成状況

- (1) 育児休業、育児休業給付の制度周知や情報提供を行った結果、女性出産者4名中4名が育児休業を取得した。
- (2) 年次有給休暇1人平均5日以上取得促進のため、所属長による有給休暇取得促進により、平均5.4日の取得となった。

<事業主からのコメント>

この度、くるみんの取得をさせて頂きましたこと、誠にありがとうございました。弊社での次世代育成支援活動は、平成23年3月に開始し、7年での取得となりました。今計画期間においては、「全社員のワークライフバランス実現」を目標として、行動計画を作成し、育児休業・年次有給休暇取得促進に向けて、管理職への制度周知や情報の提供、対象者一人ひとりに声掛けするなどして目標を達成することができました。また、勤怠管理システムを導入し、働き方改革にも取り組み、「仕事」と「家庭」をどちらも大切にする意識が醸成されてきたと思われます。

今後も、より一層、仕事と家庭の両立支援への取り組みを促進し、社員がイキイキと働き、成長できる職場環境づくりを目指して参ります。

<看護休暇を取得した男性社員からのコメント>

妻が不在のため、子供の面倒を見るようになりました。日中は、保育所に預ければ良かったのですが、朝、子供の具合が悪くなり保育所に預けることもできないため看護休暇の制度を思いつき会社に連絡して取得しました。おかげさまで子供と病院に行くこともでき無事回復致しました。これからは、妻ばかりに子供の面倒を頼らないでこの制度を有効に取得できるようにしたいと思います。

(取材連絡先・担当者： 024-947-0911 管理本部長 大港 新一)

男性の育児休業取得を促進するとともに働き方の見直しを図り時間外労働の大幅な削減に繋がった。



一般財団法人 脳神経疾患研究所 (郡山市)

- 代表者：理事長 渡邊 一夫 ■事業内容：医療業
 ■労働者数：2,363人 (男性746人、 女性1,617人)

●計画期間

平成27年4月1日 ~ 平成30年3月31日

●計画期間において育児休業をした労働者数

男性育児休業者 7名
 女性育児休業者 257名

●行動計画の目標達成状況

- (1) 育児休業制度の周知を行い、計画期間中男性の取得率は13%、女性の取得率は95%と高い水準を維持した。
- (2) 多様な勤務形態を設定しそれを柔軟に取り入れることなどにより、平成29年度の時間外労働時間は平成27年度に比べ約56%の削減となった。

●目標以外の取組内容

平成29年4月1日より企業主導型施設「南東北こども学園」を設置し運営を開始した。

<事業主からのコメント>

この度は、くるみん認定を取得することができ、大変うれしく思っております。

当法人は、仕事と子育ての両立支援として、育児介護休業規定の改定・周知およびノー残業デー実施や多様な勤務形態を設けるなど、時間外勤務の削減に取り組んでおります。時間外勤務においては、昨年度は平成27年度と比較し56%削減を達成しました。

他にも、育児休業終了後も子育てをしながら安心して働ける環境づくりをめざし、24時間保育、病児保育を実施する企業主導型施設「南東北こども学園」を開設しました。職員からは、復職時に預けられる保育施設があるので安心との声がきかれます。

今後も、くるみん認定を受けた「子育てサポート企業」として、仕事と子育てを両立したいと希望する子育て世代が生き活きと安心して働けるよう、最善の職場環境づくりを行い両立支援に努めてまいります。

<育児休業を取得した男性社員からのコメント>

第3子が生まれたときに、育児休業を約2か月取得しました。早めに上司、総務課の方と相談していたため、スムーズに取得することができました。長期休業ということもあり、気が引ける思いがありましたが、上司の方々や総務課の方、同僚たちも「これからは男性も育児休業を取った方が良い」「産後は奥さん大変だから協力した方が良い」と賛成的な意見を多く頂き、安心して育児休業に入ることができました。

おかげさまで、第1、2子の世話や家事全般を行うことができ、妻を産後安静にすることができました。

また、出産直後から家族全員で過ごすことができ、とても良い思い出にもなりました。

育児休業が取得できて本当に良かったです。

 <p style="text-align: center;">くるみん 認定基準</p>	 <p style="text-align: center;">プラチナくるみん 認定基準</p>
<p>1. 雇用環境の整備について、行動計画策定指針に照らし適切な一般事業主行動計画を策定したこと。</p> <p>2. 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること。</p> <p>3. 行動計画を実施し、計画に定めた目標を達成したこと。</p> <p>4. 平成21年4月1日以降に策定・変更した行動計画を公表し、労働者への周知を適切に行っていること。</p> <p>5. 男性の育児休業等取得について、次の①又は②を満たすこと</p> <p>① 計画期間において、男性労働者のうち、配偶者が出産した男性労働者に対する育児休業等を取得した者の割合が7%以上であること</p> <p>② 計画期間において、男性労働者のうち、配偶者が出産した男性労働者に対する育児休業等を取得した者及び育児休業等に類似した企業独自の休暇制度を利用した者の割合が15%以上であり、かつ、育児休業等をした者の数が1人以上いること</p> <p><労働者数300人以下の企業の特例></p> <p>計画期間内に男性の育児休業等取得者又は育児休業等に類似した企業独自の休暇制度の利用者がいなかった場合でも、①～④のいずれかに該当すれば基準を満たす。</p> <p>① 計画期間内に、子の看護休暇を取得した男性労働者がいること（1歳に満たない子のために利用した場合を除く）。</p> <p>② 計画期間内に、子を育てる労働者に対する所定労働時間の短縮措置を利用した男性労働者がいること。</p> <p>③ 計画の開始前3年以内の期間に、育児休業等を取得した男性労働者の割合が7%以上であること。</p> <p>④ 計画期間内に、小学校就学前の子を育てる男性労働者がいない場合において、中学校卒業までの子又は小学校就学前の孫についての子育てを目的とした企業独自の休暇制度を利用した男性労働者がいること。</p> <p>6. 計画期間において、女性労働者の育児休業等取得率が、75%以上であること。</p> <p><従業員300人以下の企業の特例></p> <p>上記6.を満たさない場合でも、計画期間とその開始前の一定期間（最長3年間）を合わせて計算したときに、女性の育児休業等取得率が75%以上であれば基準を満たす。</p> <p>7. 3歳から小学校就学前の子を育てる労働者について、「育児休業に関する制度、所定外労働の制限に関する制度、所定労働時間の短縮措置又は始業時刻変更等の措置に準ずる制度」を講じている。</p> <p>8. 計画期間の終了日の属する事業年度（※1）における労働時間について、次の①及び②を満たすこと</p> <p>① フルタイムの労働者等（※2）の法定時間外・法定休日労働時間の平均が毎月45時間未満であること。</p> <p>② 月平均の法定時間外労働60時間以上の労働者がいないこと。</p> <p>9. 次の①～③のいずれかを具体的な成果に係る目標を定めて実施していること。</p> <p>① 所定外労働の削減のための措置</p> <p>② 年次有給休暇の取得の促進のための措置</p> <p>③ 短時間正社員制度、在宅勤務、テレワークその他の働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備のための措置</p> <p>※必ずしも一般事業主行動計画に目標を定める必要はありません</p> <p>10. 法および法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと</p> <p>※「その他関係法令に違反する重大な事実」とは、以下の法令違反等を指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働基準法、労働安全衛生法等に違反して送検公表 ・ 男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、パートタイム労働法で勧告 ・ 労働保険料未納 ・ 長時間労働等に関する重大な労働法令に違反し、是正意思なし ・ 労働基準関係法令の同一条項に複数回違反 ・ 違法な長時間労働を繰り返す行おう企業の経営トップに対する都道府県労働局長による是正指導の実施に基づき企業名公表 等 	<p>1～4 改正くるみん認定基準1～4と同一。</p> <p>5. 男性の育児休業等取得について、次の①又は②を満たすこと</p> <p>① 計画期間において、男性労働者のうち、配偶者が出産した男性労働者に対する育児休業等を取得した者の割合が13%以上</p> <p>② 計画期間において、男性労働者のうち、配偶者が出産した男性労働者に対する育児休業等を取得した者及び育児休業等に類似した企業独自の休暇制度を利用した者の割合が30%以上、かつ、育児休業等を取得した者が1人以上いること。</p> <p><従業員300人以下の企業の特例></p> <p>計画期間内に男性の育児休業等取得者又は育児休業等に類似した企業独自の休暇制度の利用者がいない場合でも、改正くるみん認定の5.の①、②、④もしくは「計画の開始前3年間に、育児休業等を取得した男性労働者の割合が13%以上」のいずれかに該当すれば基準を満たす。</p> <p>6・7・8 改正くるみん認定基準6・7・8と同一。</p> <p>9. 改正くるみん認定基準の9.の①～③すべてに取り組み、①又は②について数値目標を定めて実施し、達成すること。</p> <p>10. 計画期間において、</p> <p>① 子を出産した女性労働者のうち、子の1歳誕生日に在職（育休中を含む）している者の割合が90%以上</p> <p>② 子を出産した女性労働者及び子を出産する予定であったが退職した女性労働者のうち、子の1歳誕生日に在職（育休中を含む）している者の割合が55%以上のいずれかを満たすこと。</p> <p><従業員300人以下の企業の特例></p> <p>上記10.の①又は②に該当しない場合でも、計画期間とその開始前の一定期間（最長3年間）を併せて計算し①又は②を満たせば、基準を満たす。</p> <p>11. 育児休業等を取得し又は子育てをする女性労働者が就業を継続し、活躍できるよう、能力向上やキャリア形成のための支援などの取組の計画を策定し、これを実施していること。</p> <p>12. 改正くるみん認定基準10と同一。</p> <div style="background-color: #f9a825; padding: 10px; border-radius: 15px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">※ 1 申請日について</p> <p style="text-align: center;">計画期間の終了日と事業年度の終了日が異なる場合、申請日は翌事業年度以降となりますのでご注意ください。</p> </div> <div style="background-color: #f9a825; padding: 10px; border-radius: 15px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">※ 2 「フルタイムの労働者等」とは</p> <p style="text-align: center;">短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律第2条に規定する短時間労働者を除いた全ての労働者をいいます。</p> </div>

福島県内の認定取得企業（プラチナくるみんマーク企業）一覧

■福島県の認定企業一覧（平成30年7月31日現在）

企業名	所在地	業種	認定年度
1 日本テキサス・インスツルメンツ・セミコンダクター株式会社 (平成29年1月、日本テキサス・インスツルメンツ株式会社へ合併)	会津若松市	製造業	平成27年度
2 株式会社東邦銀行	福島市	金融業、保険業	平成29年度

福島県内の認定取得企業（くるみんマーク企業）一覧

■福島県の認定企業一覧（平成30年7月31日現在）

企業名	所在地	業種	認定年度
1 株式会社郡山測量設計社	郡山市	サービス業	平成20年度（1回目）
2 株式会社沖データシステムズ (平成22年10月、株式会社沖データへ合併)	福島市	サービス業	平成20年度（1回目）
3 株式会社東邦銀行	福島市	金融業、保険業	平成21年度（1回目）
4 藤田建設工業株式会社	棚倉町	建設業	平成21年度（1回目）
5 株式会社ニラク	郡山市	生活関連サービス業、娯楽業	平成22年度（1回目）
6 福島キャノン株式会社	福島市	製造業	平成22年度（1回目）
7 田中建設株式会社	双葉町	建設業	平成22年度（1回目）
8 福島キャノン株式会社	福島市	製造業	平成24年度（2回目）
9 医療法人社団三成会	須賀川市	医療、福祉	平成24年度（1回目）
10 株式会社ニラク	郡山市	生活関連サービス業、娯楽業	平成24年度（2回目）
11 社会福祉法人太田福祉記念会	郡山市	医療、福祉	平成24年度（1回目）
12 小野建設株式会社	相馬市	建設業	平成25年度（1回目）
13 株式会社郡山測量設計社	郡山市	サービス業	平成25年度（2回目）
14 公益財団法人磐城済世会	いわき市	医療、福祉	平成25年度（1回目）
15 日本テキサス・インスツルメンツ・セミコンダクター株式会社 (平成29年1月、日本テキサス・インスツルメンツ株式会社へ合併)	会津若松市	製造業	平成25年度（1回目）
16 社会福祉法人いわき福音協会	いわき市	医療、福祉	平成25年度（1回目）
17 医療法人辰星会	二本松市	医療、福祉	平成25年度（1回目）
18 株式会社ヨシハラ	本宮市	製造業	平成25年度（1回目）
19 株式会社東邦銀行	福島市	金融業、保険業	平成26年度（2回目）
20 福島キャノン株式会社	福島市	製造業	平成26年度（3回目）
21 若松ガス株式会社	会津若松市	電気・ガス・熱供給・水道業	平成26年度（1回目）
22 北関東空調工業株式会社	いわき市	建設業	平成27年度（1回目）
23 株式会社ニノテック	郡山市	卸売業、小売業	平成27年度（1回目）
24 株式会社ハニーズ	いわき市	卸売業、小売業	平成27年度（1回目）
25 アルパインマニュファクチャリング株式会社	いわき市	製造業	平成27年度（1回目）

企業名	所在地	業種	認定年度
26 社団医療法人養生会かしま病院	いわき市	医療、福祉	平成27年度（1回目）
27 一般財団法人太田総合病院	郡山市	医療、福祉	平成27年度（1回目）
28 一般財団法人大原総合病院	福島市	医療、福祉	平成27年度（1回目）
29 株式会社ヨークベニマル	郡山市	卸売業、小売業	平成27年度（1回目）
30 株式会社ニラク	郡山市	生活関連サービス業、娯楽業	平成28年度（3回目）
31 社会福祉法人南町保育会	会津若松市	医療、福祉	平成28年度（1回目）
32 医療法人平心会	須賀川市	医療、福祉	平成28年度（1回目）
33 日本精測株式会社	会津若松市	サービス業	平成28年度（1回目）
34 株式会社二嘉組	郡山市	建設業	平成28年度（1回目）
35 アルパイン技研株式会社 （平成29年4月、アルパイン株式会社へ合併）	いわき市	サービス業	平成28年度（1回目）
36 株式会社メディカ	郡山市	卸売業、小売業	平成28年度（1回目）
37 株式会社ニノテック	郡山市	卸売業、小売業	平成29年度（2回目）
38 社会福祉法人心愛会	郡山市	医療、福祉	平成30年度（1回目）
39 福島信用金庫	福島市	金融業、保険業	平成30年度（1回目）
40 社会福祉法人 笑風会	郡山市	医療、福祉	平成30年度（1回目）
41 ダイハツ福島株式会社	郡山市	卸売業、小売業	平成30年度（1回目）
42 一般財団法人脳神経疾患研究所	郡山市	医療、福祉	平成30年度（1回目）

福島県内の認定企業分布図



くるみん認定企業 ● 35社



プラチナくるみん認定企業 ● 2社

★ 今回の認定企業

